

見学調査報告書

テーマ : 情報技術を駆使する経営革新と経営戦略
ゼミ名 : 堀内 恵ゼミ
調査日 : 2019年6月18日(火)
調査先 : ジビエ加工処理施設(山梨県北都留郡丹波山村)
授業科目名 : 演習 I
参加学生数 : 14名(3年)、1名(4年)

調査の趣旨(目的)

堀内ゼミ演習 I では、現実のビジネスを取り巻く現状と課題を理解し、最新の IT 技術を活用した解決策を提案する研究テーマを設定している。このテーマを基に、本年度は「丹波山村のジビエ加工処理施設」を訪問調査して、現場の業務課題を整理する中でその課題を明らかにしつつ、その課題の一部を最新の IT 技術を用いて改革するビジネス改革案を検討・提案する。

調査結果

調査の結果、以下の課題が確認できた。

1. 鹿の捕獲頭数が少ないため、売り上げを伸ばすことが困難である。
2. 食肉としての鹿肉の安全性確保に向けての作業記録がアナログ管理のため業務効率が悪く、また記録抜け漏れの恐れがある。
3. 猟師や加工処理施設従業員数が不足している。
4. 鹿の捕獲場所から加工処理施設までの搬入に時間と手間がかかる。

以上の調査結果を踏まえて、堀内ゼミでは、鹿肉の記録システムへのブロックチェーン技術の導入の可能性や鹿の捕獲罠への IT 導入の可能性などを含めて、具体的な課題解決策を全員で検討していく予定である。



ご協力いただきました丹波山村の
at home supporters の代表取締役の保坂幸徳さん
と堀内ゼミ(15期生)との集合写真
(於: 丹波山村郷土民族資料館)

捕獲の現場の説明



丹波山村におけるジビエビジネスの現状についての説明

